

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 月 日

事業署名 港区立児童発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	30	11	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の位置取り、環境設定(粗大運動スペースと絵本や制作等をするコーナーを設けている) ・机の出し入れ等。倉庫はもっと広い方が便利。 ・利用者数と職員数と設備環境に無理がある。 ・部屋によってスペースが足りていない。 ・現状、部屋が足りていない。 ・部屋を区切って複数で利用できるなどの工夫。個別の部屋だけではなく、通園の部屋を使うなどの工夫。それでも部屋の数には足りない。 ・両者が増えているが部屋が少ない。 ・日によるが、欠席者がいない日は大人と子どもを含め15人以上室内にいたことがあった。空気がこもり、活動内容も思うように進められないと感じました。定員人数を減らすか、もう少し広いスペースを確保して欲しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、人数やお子様の特性等に合わせて、その都度別部屋の使用等を検討していきます。 ・クラス内に死角やお子さんが入ってしまう隙間があるため職員が立ち位置を工夫して対応しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	31	10	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員が通年を通して各クラス4人いる状態が望ましいと思う。 ・不足しており、負担が大きい。 ・配置基準より多い人数を配置している。 ・利用児童が重度化しており、配置基準の3:1では見きれない。ヘルプ職員が必須となり、職員体制により、支援内容も妥協することがしばしばある。 ・利用定員に上限がないため、負担が膨らむばかり。 ・職員の人数が減少している。 ・活動の配慮や職員の配置は事前に話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 配置基準以上に、支援員、心理士、言語聴覚士等の常勤職員を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	35	6	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚提示など活用されている。 ・テラスは危険箇所何点かあり。スロープを設置する。 ・児童向けに設計されていない。 ・バギーを利用するお子さんがおり、避難時にスムーズに移動できるよう、テラスの段差にスロープを購入予定。 ・児に合わせた手順などを視覚的に提示している。 ・できる限りの構造化はしているものの、建物の作り上、視覚が多く全体を把握しにくい。また、鍵やコンセント等のスイッチ類が子どもの手が届く高さであり、大人の高さで作られると危険回避も容易になる。 ・掲示板はあるが、見やすいかというところでもない。 ・収納が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・センター内は、全てのスペースが整地であり、バリアフリーと言える環境です。 引き続き、お子様の特性等に配慮しながら部屋の使用を検討します。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	37	4	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの床が水で濡れていたり、ゴミ箱があふれている。 ・子供向けに造られていない。 ・園庭は動物の糞が落ちていたり不衛生。 ・教台の加湿器で湿度の調整や、エアコンや床暖房で室温の管理をしている。 ・児に合った休憩スペースなどの環境調整をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、毎朝の清掃と適宜玩具などの物品の消毒を行います。 ・気持ちよく過ごせるように、互いに配慮しながら過ごせるよう啓蒙してまいります。

業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	36	5	<ul style="list-style-type: none"> ・日案作成、振替りの時間あり。 ・日案と振り返りを行っている。 ・面談実施等で意識できている。 ・主にクラス職員内なので、広くはないが、クラス内ではしっかり共有している。 ・支援計画作成などを複数の職員で行なっている。 ・統一した指標を用いることで、共通認識を持った取り組みができるシステム作りをすすめている。 ・ミーティングや会議の中で、業務の進捗などを確認している。 ・毎日クラスで振り返りを行っている。 	・ケース会や会議等でお子様の支援内容や事業の運営に関する事柄等を適宜話し合っています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	39	2	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート等実施。 ・保護者の意向はまとめられ、全職員が回覧している。 ・アンケートを実施、その改善報告も行う。 	・いただいた意見を参考に、出来る限りの対応を実施してまいります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	37	3	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果はばお内に掲示。 	・ホームページが開設でき次第、保護者アンケートと合わせて結果を公表します。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	37	3	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者の外部監査は行なっているか不明。 	・港区が定期的に実地指導に訪れています。また、法人内でも監査を実施し、適宜業務改善を図っております。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	40	1	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修を受講した。 ・研修の実施時期や内容等は毎年振り返り、年度ごとに改善をしている。 ・様々な研修の実施で勉強になっている。 ・月に一度研修の機会を確保し、内部を問わず外部から講師を呼んだり、研修内容の希望も受けている。内容も支援に関わるものから、職員間のコミュニケーションまで、様々である。 ・月に1回のペースで内部研修と階層別研修がある。 ・研修を十分に行なっているが、時に研修が日常業務を圧迫することがある。年度ごとに内容を見直し、向上を図っている。 ・毎月研修あり、実践につながる内容を行なっている。 ・毎月の研修。 	・毎年、外部研修に延べ70名以上の職員を派遣しています。また、内部研修を月1回以上開催しています。できる限り、適当な内容の研修が受講できるよう、階層別での研修も実施しています。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	40	1	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを適切に行える職員が少なく、計画立てが困難になっているケースがある。日々の支援力やアセスメント力の向上が見込まれる。 ・専門職のアセスメントをもとに作成できている。 	・標準化されたツールを使用し実施した評価後に、お子さんに関わる職員全員が参加するケース会にて、個別支援計画を立案しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個別職員により標準化された検査を使用。 	標準化されたツールを用いてアセスメントしています。今後も同様に取り組みます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	40	1		<ul style="list-style-type: none"> ・支援員、看護師、公認心理師、言語聴覚士等による多角的な視点でアセスメントを徹底的に実施し、支援計画を作成しそれに基づいて支援を提供しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	40	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の目標に対して振返る。 ・日々見直しや支援の統一を図っている。 ・個々の目標が達成できるよう、活動に取り入れられたり活動内容を決める時に度々見返す。 ・計画目標に対して、月々の様子を月間にまとめている。 	・計画内容、支援方法に沿った活動を実施しています。また、適宜計画内容の確認ができる仕組みを設けています。

適切な支援の対象

⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	40	1	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、取り掛かりから完成まで膨大な時間を要しており、作成者はもちろん、リーダーや管理職もそれに対して膨大な時間を要する。業務時間内には終わることができず、日常業務をもひっ迫させている。 ・毎週クラス職員で話し合い立案をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団指導では、活動内容に主観や偏りが生じないよう、必ずチームで計画を立てます。 ・個別の指導でも、職種内、職種間での相談を行いながら、より効果的なプログラムを立案しています。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	39	2	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の振り返りや、時には個別職員の指導を受けて内容を更新している。 ・月初めに月案を作成し実施。実施後には振り返り、次回以降に反映させている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度お子様が興味、関心をもてるものを題材にするなど、工夫をこらしています。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	39	1	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス内個別指導を行っている。 ・クラスにて支援員との個別活動の時間をお子さんによって設けている。 ・通園ではクラス内での個別指導を行なっている。 ・保護者のニーズである個別指導も充実させた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通園事業やグループ指導においては、お子さんの発達段階や特性に応じて個別課題と集団活動を併用した計画立案をしています。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	40	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードを使用して視覚的に内容を共有しやすくしている。 ・立案、準備、打ち合わせ、全てチームで行っており、共通認識が持てる流れになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前に担当職員間で、必ず打ち合わせを実施しています。適宜、児童発達支援管理者も参加し確認しています。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	40	1	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー不在での振り返りは論点がずれることがあり、全員揃って行うことが望ましい。 ・時間が取れない時もある。また強い発言者よりになることもある。 ・時間に制限なく振り返りをする日が多く、休憩時間が減ったり、帰る時間が遅くなったりします。全体で振り返りに設ける時間を何分までと決めて欲しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員間で可能な限り当日に振り返りを行い、次回以降の活動立案につなげる。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	40	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個人記録、クラスの記録を取っている。 ・ほのぼのの日々の記録。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、支援の記録をとり、モニタリングにもつなげています。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	40	1	<ul style="list-style-type: none"> ・6ヵ月で支援計画を見直している。 ・毎月、計画に対する変化を記録している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通園事業においては、支援計画に記載している全項目について毎月の進捗を確認する「月のまとめ」を作成しています。 ・グループや個別指導では、定期的にケース会を実施し、モニタリングを行っています。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	40	1	<ul style="list-style-type: none"> ・会議があれば担当者と役職者が参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達管理責任者や他の役職者が主に出席し、必要に応じて担当者も同席しています。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	38	3	<ul style="list-style-type: none"> ・しばしばである。 ・普段の様子なども組み込みながら連携できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、関係者会議への参加や、見学の受け入れ、電話での情報共有などを行っています。
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	37	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園への送迎等。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医をはじめ関係各所と連携をはかり共通認識をもって対応できるようにしています。
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	39	1	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医の意見書などから障害者福祉課開催の利用判定会議の承認後に開始、病院、訪問看護、保育園などと連携をとることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、保護者同席のもと支援員と看護師が医療機関に出向き情報を共有します。
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	39	1	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシートの共有の他、必要に応じて電話による連携や保護者同席の園訪問を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、保護者様の了承のもと、評価報告書を提出したり、それぞれの関係機関とカンファレンスを実施しています。また、アセスメントシートや個別支援計画の共有をお勧めしています。

関

係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	37	3	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会は行っているが、もう少しできたらと思う。 ・実態把握票を作成した。 ・担当職員が実態把握票などを作成、就学先やの前後に教諭と情報交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様の了承のもと、港区(就学相談)で取り扱われている「児童実態把握票」や「療育経過報告書」「就学支援シート」等を作成し、就学先にお子様様子を報告しています。 ・毎年、特別支援学校とお子様様の情報を引き継ぐ機会を設けています。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	35	6	<ul style="list-style-type: none"> ・しばしばである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区立施設として、外部施設に講師として出向き、研修を実施しています。 ・港区の通所支援事業所連絡会に参加し、情報交換の機会を設けています。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	26	14	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は年に2回、地域の保育園に交流しに行っていたが、現在は利用児の半数以上が保育園を併用しているため、行っていない。 ・利用児の半数以上が保育園や幼稚園に所属している。 ・交流するプログラムがなくなり、機会の確保はできていない現状。何かしらの方法で地域参加や交流できるよう模索しているが、受け入れる側の問題もあり、やや困難。 ・今年度に関してはなかったが、例年はありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通園事業においては、現在は利用児の半数以上が保育園との同日利用をしており、保育園と連携しています。
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	33	6	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない。 	令和5年度より、港区医ケア部会が発足し、委員として複数の職員が参加しております。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	39	2	<ul style="list-style-type: none"> ・単独通園であるため、保護者と直接接する機会が少ないことは悔やまれるが、連絡アプリを通して毎日の情報交換はできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通園事業では、参観保護者参加日や定期的な面談を実施しています。また、連絡アプリや電話で保護者とやり取りを行っています。 ・グループ指導や個別指導では指導後に直接説明したり、日頃のご様子について相談に応じています。
③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	37	4	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に保護者向けの勉強会を開催している。 ・勉強会やこつこの会を実施している。 ・勉強会を実施している。また、日々、保護者からの質問には回答するようにしている。 ・保護者勉強会やこっこ、ひまわりの会。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者勉強会、こつこの会、ひまわりの会等を開催し、お子さんの特性に合わせた対応の工夫についてお伝えし、一緒に検討しています。 	
保護者へ	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	39	2		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に、保護者様に説明しています。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	40	1	<ul style="list-style-type: none"> ・面談を実施し、同意のもと支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての保護者様に対して、支援計画内容について説明し、同意をいただいております。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	40	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年に3回面談を実施。 ・対処できない相談等は上司に相談し対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて電話や別日に面談に話す機会を確保しています。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	38	1	<ul style="list-style-type: none"> ・療育参加。 ・行事、懇談会など保護者同士の連携を支援。 ・懇談会や保護者支援プログラム、保護者参加プログラムを実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通園事業においては、年2回クラス懇談会を開催しています。 ・今後も父母会からの要望を確認し出来る限りの対応をします。

の説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	40	1		・今後も保護者様よりご相談いただいた際には、できる限り速やかに事業内で協議し対応しております。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	39	2	・おたより発行。 ・コドモンで月のおたよりを配信、施設玄関にお知らせを掲示。 ・通園に関しては毎月発信している。	・通園事業においては、毎月保護者向けに「ばおだより」「給食だより」を発行をしています。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	40	1	・個人情報載っている書類はカモフラージュファイルに入れる。 ・毎年個人情報の研修あり。	・全職員が、個人情報保護に関する研修に年1回以上参加をし、ルールの再確認、徹底に務めています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	39	2	保護者に合わせて、連絡帳に加えて電話でも伝える。	・お子様の発達段階や特性に合わせた工夫を、日々検討しています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	30	10	・外部からの見学を随時受け付けている。 ・施設内の行事のみであり、地域住民を招待する行事はない。	・令和5年度秋に、地域の他事業所向けに、当センターの見学及び説明会を開催しました。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	38	3	・外来の保護者には伝わっていない。 ・定期的に訓練を実施していることを保護者向けに周知した方が保護者が安心すると思う。	・センター全体として、定期的に避難訓練、防犯訓練を実施し、有事に備えています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	39	2	・避難訓練実施。 ・実施できていない月もある。 ・定期的に実施しているものの、実用的ではないと感じる。本来の災害を想定した訓練が必要と思われる。	・定期的に地震、火災を想定した避難訓練を実施しています。有栖川公園に避難する訓練も実施しております。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	40	1	・自動票や生活指導票などに記載してもらう、クラスや看護師が保護者に聞き取りもする。 ・年度初めに周知する研修あり。	・入園前のオリエンテーション時にてんかんを持っているお子さんの情報、服薬に関しては一覧表を作成し、全員で共有しています。 ・てんかん発作では必要に応じて医師の指示書のもとに預かり薬を保管し、すぐに対応できるようにしています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	39	2	・食物アレルギー対応のマニュアルがある。 ・席配置の工夫。	・入園前のオリエンテーション時にアレルギーのあるお子さんの情報、服薬に関しては一覧表を作成し、全員で共有しています。 また、必要に応じて医師の指示書のもとに預かり薬を保管し、すぐに対応できるようにしています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	38	3	・ヒヤリハットやアクシデントのケース検討会などが必要と感じる。 ・毎日のミーティングでも共有している。	・ヒヤリハットがあった際には、当日中に職員間で共有し再発防止に務めます。 ・センター全体で月ごとにヒヤリハットをまとめて港区に提出しています。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	40	1	・研修やアンケートを実施している。 ・研修はしているが、グレーな対応に直面した場合は、職員同士が声をかける環境であるかは不明。必ず上司に報告できると良い。	・自治体が主催する外部研修に職員を派遣したり、内部研修で支援を振り返る機会をつくっています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	40	1	・保護者に説明し同意を得る。 ・個々の様子に合わせてケース会などで決定している。 ・保護者に説明、同意を得たうえで行なっている。	・部門ごとのケース会にておいて、身体拘束について内容を確認し、契約時に保護者様に説明し、了承を得ています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

